

# 令和2年度授業改善推進プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だて)の授業に関して作成する。
  - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
  - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
  - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(特別支援②) 教科担任名 小笠原 幸子

★教科・観点について  
生徒の状況などを分析し記入する。＜○成果 ▲課題＞

自立活動観点	1学期		2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善策	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
学習指導	○自己の課題に対して意識を持って取り組むことができた。 ▲集中力の持続、学習の習慣化。	・目標の設定。 ・スモールステップでの取組。 ・短時間で集中して取り組むことができる課題の設定。	○繰り返し課題に取り組むことで、自信をもってできることが増えた。 ▲家庭学習の習慣につなげた。	・個に応じた課題の設定。 ・スモールステップでの取組。 ・短時間で集中して取り組むことができる課題を増やす。	
健康の保持	○体調を崩すことがほとんどなく、健康的な学校生活を送ることができた。 ▲より安定した生活リズムが身に付くとよい。	・生活の振り返り活動。	○頻繁に保健室を利用していた生徒の利用回数が減った。 ▲生活リズムが整わない生徒がいる。	・生活の振り返り活動。	
心理的安定	○安定して学校生活を送ることができている。 ▲自分の課題に関する認識が弱い。	・生徒と教員間でよりよい関係を築く。 ・活動後の振り返り活動。	○通級指導で少しずつ自信をつけて、自分の課題に取り組んでいる。 ▲さらに深く自己理解を進める必要がある。	・生徒と教員間でよりよい関係を築く。 ・今の自分を理解し、自分の気持ちと向き合いながら課題に取り組む力を身に付けさせる。	
人間関係の形成	○個別での取り組みの中で、教員との信頼関係を築くことができています。 ▲教室での活動では消極的になりがちである。	・自己理解を深めさせる。 ・小さな成功体験を積み重ね、自分に自信を持つことができるようにする。	○通級指導を通して教員との信頼関係が深まるとともに、自分の考えをはっきりと伝えられることが増えてきた。 ▲大きな集団の中でも力を発揮することができるように。	・自己理解を深めさせる。 ・小さな成功体験を積み重ね、自分に自信を持つことができるようにする。	
環境把握	○記憶する力、思考する力は身につけてきた。 ▲推理する、イメージする力が弱い。	・推理したり、イメージしたりする活動を取り入れる。	○経験を積み重ね、推理したりイメージしたりする力は身に付きつつある。 ▲全般的な力の底上げはまだ必要である。	・引き続き推理したり、イメージしたりする活動を取り入れ、力の定着をはかる。	
身体の動き	○助言を受け入れ、微細な動きに丁寧さが見られるようになってきた。 ▲微細運動の経験を積み重ねる必要がある。	・微細な運動を必要とする活動を増やす。	○助言を受け入れ、微細な動きに丁寧さが見られるようになってきた。 ▲さらに経験を積み重ね、より丁寧な動きを身に付けさせたい。	・微細な運動を必要とする活動にさらに取り組む。	
コミュニケーション	○挨拶や、大人に対する丁寧な言葉遣いなどは身につけている。 ▲教室の中の適切なコミュニケーションに課題がある。	・般化につながる実践的、体験的な活動を増やす。	○しっかりと準備をすることで、自信をもって発表する活動に取り組むことができた。 ▲経験値はまだ低く、積極的なコミュニケーション活動へつなげるにはまだ時間がかかる。	・小集団での活動の場面を増やし、場に応じたコミュニケーション能力を身に付けさせる。	
授業改善の検証方法	・振り返り活動を取り入れる。 ・通級担任、学級担任が連携し、協力する。		・振り返り活動を取り入れ、通級での学習の成果を実感できるようにする。 ・通級担任、学級担任の情報交換を密にし、連携し、協力する。		
研修課題(キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法	1学期の成果と課題	1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題
自己理解を深めさせる	課題の目標を明確にして取り組ませる。 スモールステップで課題を設定し、成功体験を多く積み重ねる。 振り返り活動を取り入れ、自らの課題を意識させる。	○繰り返し取り組んでいくことで、自己の課題について意識することができるようになってきた。 ▲定着するには時間がかかることが多いので、じっくり取り組む必要がある。	個に応じたよりきめの細かい課題設定。 スモールステップで課題を設定し、成功体験を多く積み重ねる。 振り返り活動を取り入れ、自らの課題を意識させる。	○調査の結果や、提出物をするのでできたなど、目に見える成果があがった生徒は自信の向上につながった。 ▲途中から入級してくる生徒がいて、在籍が増えたので、それぞれに対応できるようにする。	